

後援：新潟市南区役所健康福祉課

食べる幸せをみんなで分かち合う
**子どもの未来
応援プロジェクト**



開催日

〈1回目〉

12/19[±]

9:30~20:30

〈2回目〉

1/16[±]

9:30~20:30

フードドライブ キャンペーン

南区白根健康福祉センター
1F 第1研修室にて実施

緊急募集

〈食品・日用品提供のお願い〉

新型コロナウイルス感染症拡大下、社会的・経済的影響により日常生活が失われているひとり親家庭等が急増し、フードバンクへの援助要請が増えたことで、支援に必要な食品が慢性的に不足しています。食を通して命や育ちを支える活動にご協力ください。

- 上記イベント日以外にも常時フードドライブを実施しています。
受付時間内(8:30~17:30)にお気軽にお越しください。

お問い合わせ

南区白根健康福祉センター

〒950-1217 新潟県新潟市南区白根1364番地12
tel.025-371-1070 fax.025-372-0210

募集内容

- ①お米や野菜、乾麺やお餅、お菓子や飲料などの食糧品
- ②ベビー用品や学用品
- ③除菌水やマスク、おむつや生理用品などの衛生用品
- ④生活用品や生活家電



同時開催

フードパントリー ベビー・学用品リユース会

南区白根健康福祉センター3F 多目的ホールにて実施

食品・ベビー用品・学用品・衛生用品・生活用品・生活家電など、フードバンクに寄せられた支援品の無償お渡し会を実施します。どうぞお気軽にお越しください。

対象 **ひとり親家庭の方等**



- ①児童扶養手当の一部または全部支給を受けている方
- ②大学生等を持ち、収入が児童扶養手当受給相当の方
- ③新型コロナウイルスの影響で、世帯収入が児童扶養手当受給相当になった子育て家庭 など



開催日

〈1回目〉

12/19[±]

13:30~20:30

〈2回目〉

1/16[±]

13:30~20:30

NPO法人 フードバンクにいがた

お問い合わせ先
(事務局)

〒955-0861 新潟県三条市北新保1-20-18
tel&fax. 0256-34-8960

＼食べる幸せをみんなで分かち合う／



「フードドライブって どういう意味？」

「もったいない」を「ありがとう」へ。

フードドライブとは、food(食べ物)+drive(運動)で「食べ物を集める運動」という意味。家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや福祉団体などに寄付するボランティア活動です。

「食品ロスとは？」

本来食べられるのに
捨てられてしまう食品。

日本では、年間2,550万トンの食品廃棄物等が出されています。このうち、まだ食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は年間612万トン。(平成29年度推計値)
大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から食品ロスを減らす必要があります。

「フードバンクって 何をするの？」

食べる幸せを届けます。

まだ美味しく食べられるのに廃棄されている食べ物がたくさんあります。その一方で、その日の食べ物にも困っている人達がたくさんいます。フードバンクはその両方をつなぎ、個人や企業の方からまだ食べられるのに不要になった食品を無償で受け取り、それらを必要とする人達のもとへ無償でお届けします。



「どんな食品を寄付すればいいの？」

常温保存可能な食品の寄付をお願いします。



- お米・お餅
- 缶詰・瓶詰
- 乾麺・海苔
- お菓子・飲料
- レトルト食品
- インスタント食品
- 調味料・食用油
- 野菜・果物 等

※未開封の食品
※賞味期限がまだある食品
※企業などで印字ミスや箱崩れ等で販売できない食品

お中元・お歳暮
贈答品など
ご寄付も大歓迎



冷蔵・冷凍食品の受入拠点もあります。詳しくは最寄りのフードバンクにお問い合わせください。

「周辺図」



南区白根健康福祉センター

常時フードドライブを行なっています。
施設開館時間内にいつでもお越しください。
(午前8時30分～午後5時30分/毎週月曜・12/29～1/3休館)

〒950-1217 新潟県新潟市南区白根1364番地12
tel.025-371-1070 fax.025-372-0210